

旬鮮魚市場クルベ熊谷銀座店、2026年6月17日リニューアルオープン。ベルクの低価格戦術と「クルベ」フォーマットの検証

記事作成日：2026年16月16日

株式会社ベルク（本社：埼玉県鶴ヶ島市）は、2026年6月17日（水）午前10時、埼玉県熊谷市に「旬鮮魚市場クルベ（CLBE）熊谷銀座店」をリニューアルオープンする。同店は従来の「ベルク熊谷銀座店」から改装した店舗であり、ベルクが展開するディスカウント（DS）型フォーマット「クルベ」としては、群馬県前橋市の「クルベ竜舞店」（旧ベルク竜舞店からの改装）等続く展開となる。

本稿では、オープンチラシおよび公開されている企業財務データに基づき、新店舗の概要、ベルクの経営状況、イオン情報との関係性、ならびに標準型「ベルク」とディスカウント型「クルベ」の運営構造の差異について、事実関係を整理・記述する。

1. 旬鮮魚市場クルベ熊谷銀座店の店舗概要

当該店舗の基本構造および提供サービスは以下の通りである。従来の標準型スーパーマーケット「ベルク」とは一線を画した低コスト運営の仕様となっている。

店舗基本情報

- ・店舗名：旬鮮魚市場クルベ熊谷銀座店
- ・所在地：埼玉県熊谷市銀座2丁目226
- ・オープン日時：2026年6月17日（水）午前10時
- ・営業時間：10:00～21:00
- ・駐車場：合計190台（入庫から30分無料、店舗利用レシート提示でさらに60分無料。以降1時間ごとに300円）

主要部門の特徴と訴求内容

- ・海産コーナー：「自慢の鮮度」を掲げ、青森・八戸ベルクグループのマルイチ水産鮮魚店と連携。対面販売を実施し、まぐろの品揃え、赤酢のシャリを使用した「魚屋のお寿司」を展開する。
- ・デリカコーナー（惣菜）：鉄板焼「銀糸」として店内で調理した広島焼や焼きそば、煮込み「銀之煮」の角煮、ロテサリーチキン、本体価格199円（税込215円）の弁当等を販売。イタリアンの名店「カンブーザ（CAMBUSA）」監修のピザも導入する。
- ・青果コーナー：「熊銀青果」として全国の旬の味を訴求。

- ・**精肉コーナー**：「肉内研究会」による和牛・国産牛の展開、深谷市産の「彩の国黒豚」等を販売。
- ・**お酒コーナー**：青森県の「八戸酒造」（陸奥八仙など）や熊谷の地酒「権田酒造」を取り扱う。

2. ベルクの直近業績（財務状況）

クルベを展開する株式会社ベルクの直近の決算数値（2025年2月期・通期決算）は以下の通りである。同社は安定的な成長と高い利益率を維持しており、関東ローカルの食品スーパーマーケット（SM）の中でも優良な業績を示している。

勘定科目・経営指標	2025年2月期 決算数値	前年同期比
営業収益（売上高および営業収入）	348,342 百万円	+7.4%
営業利益	15,481 百万円	+6.2%
経常利益	15,621 百万円	+6.1%
当期純利益	10,544 百万円	+5.8%
店舗数（期末時点）	138 店舗	—

※数値はベルク公表の決算短信に基づく。原材料高騰やエネルギーコスト上昇の環境下においても、標準化された効率的店舗オペレーションにより増収増益を確保している。

3. ベルクとイオンの関係性

株式会社ベルクは、東証プライム市場に上場する独立した企業であるが、国内最大の流通グループである「イオン株式会社」の持分法適用関連会社（持株比率約15%）である。この資本・業務提携関係により、以下の構造が構築されている。

- ・**商品調達におけるメリット**：イオンのプライベートブランド（PB）である「トップバリュ（TOPVALU）」商品を一部店舗で導入・販売しており、共同仕入れによる調達コストの抑制を図っている。
- ・**物流およびシステム**：イオンのインフラを部分的に活用しつつも、ベルク独自の自社物流センター（惣菜センターやドライ物流）を構築し、高効率な配送・補充体制を維持している。
- ・**経営の独立性**：独自の経営方針を維持しており、標準型「ベルク」に加え、今回のような独自のディスカウント型フォーマット「クルベ（CLBE）」を自主開発し展開する柔軟性を有している。

4. 「ベルク」と「クルベ（CLBE）」の運営構造の違い

「クルベ（CLBE）」は、「Challenge the limits of Belc」（ベルクの限界に挑戦する）の頭文字に由来する。チラシ等の告知物から確認できる、標準型「ベルク」とディスカウント型「クルベ」の明確な仕様の差異は以下の通りである。

比較項目	標準型「ベルク（Belc）」	ディスカウント型「クルベ（CLBE）」
決済方法	クレジットカード、各種二次元コード、電子マネー可	現金の支払いのみ（クレジットカード・二次元コード・電子マネー不可）
自社ポイントカード	ベルクカード（ポイント付与・利用可）	ベルクカードの利用不可
レジ袋	無料配布（バイオマス配合等による独自運用）	有料での販売
顧客サービス	各種キャンペーン、配送、調理、商品取り寄せ等の実施	各種サービスは対象外（商品取り寄せ、事前予約、お取り置き、店内調理・包装・配送等は不可）
店舗への問い合わせ	電話等での在庫確認・価格問い合わせに対応	商品取り扱い・価格・在庫状況の電話等での問い合わせ不可（来店確認のみ）
リサイクル・ATM	設置（店舗により異なる）	リサイクルステーション・良水オアシスは継続利用可能、ATM設置

【店舗利用時の留意事項（公式告知より）】

ホームページやチラシ等に記載される、通常のベルクを対象とした品揃え・売価・サービス・キャンペーン等は、クルベ（CLBE）ではすべて対象外となる。サービスや決済手段を極限まで絞り込むことにより、そのコスト削減分を「驚きの鮮度と安さ」として商品価格に直接還元する仕組みを採用している。

5. 結び（客観的視点による考察）

食品小売業界における価格競争激化、および物価高騰に伴う消費者の生活防衛意識の高まりを背景に、主要な食品スーパーがディスカウント型フォーマットを第2の柱として育成する動きが活発化している。ベルクにおける「クルベ」の展開は、自社の高効率物流・オペレーションのノウハウをベースに、現金決済化による手数料削減とサービス簡素化を徹底した実験的なフォーマットである。熊谷銀座店における改装が、地域の購買行動および同社の利益率に与える影響が注目される。